

ニッポン専修

専修大学ホームページ http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行 (定価一部90円) 発行所 専修大学広報課 東京千代田区東神保町3-8 電話03-3265-5819(直)

主なニュース

- 寄稿「東日本大震災とメディア報道」 山田健太文学部准教授……………③
- 「自閉症下さんとの40年」 乾吉佑・人間科学部教授が学会賞受賞で記念講演……………④
- 「BCLPプログラム」受講の短期留学生在が国際交流実践……………⑪
- 「石巻専修大学」石巻市立女子高と「高大接続研究事業」の協定調印……………⑫
- 北海道短大 学生部ツアーを開催/秋期父母懇談会を実施……………⑬
- 専大生が活躍 登栄会チャリティーイベント・多摩区民祭……………⑭



専修大学創立130周年記念映画「学校をつくろう」ホール上映スケジュール

- 11/27(日)14:00～ SKIP シティ彩の国ビジュアルプラザ映像ホール(埼玉県川口市)
- 12/3(土)15:20～ 18(日)11:00～ 鹿児島県歴史資料センター黎明館(鹿児島県鹿児島市)
- 12/3(土)14:00～ 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ映像ホール(静岡県静岡市)
- 12/4(日)9:30～ 茨城県立県民文化センター小ホール(茨城県水戸市)
- 12/11(日)13:00～ 宮日会館(宮崎県宮崎市)
- 12/17(土)9:30～ 長岡リリックホールシアター(新潟県長岡市)

被災地のご父母を激励

日高理事長・学長

仙台で育友会修学支援相談会

育友会宮城支部(久保田晴彦支部長)の修学支援相談会が10月16日、仙台市で開催され、日高義博理事長・学長が出席。東日本大震災で被災したご父母を激励した。

会場の仙台ガーデンパルク。あやふまされたが、開催でレスには39人が参加、同じことをうれしく思ふ。被災者支援のさまざまな情報を持ちかえり、早川和仁育友会長は「ぜひ、役立てていただきたい。学生たちへの支援」3月11日の震災で、被災地での今年の懇談会がとご父母への情報発信

が、育友会の大きな役割と考えている」とあいさつした。

日高理事長・学長は、東日本大震災で、専修大学と石巻専修大学の学生、さらにはキャンパスが被災し多額の資金が必要とされる中、育友会から寄付があったことに対し、感謝の意を表した。

また、専修大学は、戦

育友会の寄付に感謝

ご父母「心強い学費減免特別措置」

前の関東大震災、戦後の相次ぐ教育制度の転換など、幾多の困難を乗り越えてきたと語り、「いま私学は、生き残り、を

被災により切実な思いをして



▲ あいさつする日高理事長・学長

革めた大学改革の中にあ

と表明し

大学側から学業、学生生活、就職活動などについての説明があり、特に東日本大震災



▲ 真剣な面持ちで説明を聞くご父母ら



▲ 「自然界に働く力の利用」について講演する石巻専大の高崎教授



▲ 講演する田邊文学部教授

復興の拠点 石巻専修大学で「社会知性フォーラム」開く

文学部・田邊教授と石巻専大・高崎教授講演

大学が持つ研究力・教高崎みつる教授は「自然最後、石巻専修大学育力を生かし、地域社会に働く力の利用可能の坂田隆学長があいさつに「知の発信」をする「社会性を研く」を講演した。をして締めくくった。

会知性フォーラム」(石巻専修大学と専修大学共催)が11月5日、開かれた。

本年度は、東日本大震災直後から復興の「拠点」としての役割を果たしてきた石巻専修大学を会場に開催。

当日は一般参加者や学生、専修大学北上高校の生徒ら204人が来場。

日高義博理事長・学長のあいさつにあと、専修大学文学部の田邊祐司教授が「3Dの英語学習法―音読を中心に」を講演。



▲ 東日本大震災により取り壊しとなった生田キャンパス3号館跡地は開放空間に―(「鳳祭」でにぎわう生田キャンパス正門付近)

「歴史と志を糧に」1000人が祝う 専大北上高校創立60周年記念式典

鳳祭写真特集は8・9面

▲ 祝賀会では郷土芸能部が踊りと民謡を

▲ 吹奏楽部がマーチングドリル披露

▲ 三島理事長を前に決意表明する平野さん

専修大学北上高等学校(以下専大北上)の創立60周年記念式典が10月28日、同校体育館で行われ、生徒や教職員、来賓約1000人が出席して節目を祝った。

学校法人北上学園の三島英雄理事長は、同校の前身となる黒沢尻女子高校が1951年に開設されて以来の来歴を振り返り、「今後も心身健康な青少年の育成に取り組みしていきたい」とあいさつした。

及川校長は「本校の発展は、『報恩奉仕』の志を日常の教育活動に反映させることにかかっている」とあいさつした。

来賓の祝辞は専修大学の日高義博理事長・学長、連増拓也岩手県知事(代読)、高橋敏彦北上市長から寄せられた。

生徒会長の平野圭祐さん(3年)が「歴史ある専大北上高校の生徒であるという自覚と誇りを持ち、社会に貢献していきたい」と誓いの言葉を述べた。

アトラクションとして、同校吹奏楽部がマーチングドリルを披露。会場を変えて祝賀会が催された。



▲ 記念式典であいさつをする及川校長

専修大学北上高等学校(以下専大北上)の創立60周年記念式典が10月28日、同校体育館で行われ、生徒や教職員、来賓約1000人が出席して節目を祝った。

学校法人北上学園の三島英雄理事長は、同校の前身となる黒沢尻女子高校が1951年に開設されて以来の来歴を振り返り、「今後も心身健康な青少年の育成に取り組みしていきたい」とあいさつした。

及川校長は「本校の発展は、『報恩奉仕』の志を日常の教育活動に反映させることにかかっている」とあいさつした。

来賓の祝辞は専修大学の日高義博理事長・学長、連増拓也岩手県知事(代読)、高橋敏彦北上市長から寄せられた。

生徒会長の平野圭祐さん(3年)が「歴史ある専大北上高校の生徒であるという自覚と誇りを持ち、社会に貢献していきたい」と誓いの言葉を述べた。

アトラクションとして、同校吹奏楽部がマーチングドリルを披露。会場を変えて祝賀会が催された。